【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用して下さい。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意下さい。

［成果情報名］飼料用トウモロコシ（子実利用型）「LG30500」の品種特性
［要　　約］「LG30500」は、根腐れ病の発症が少なく、子実乾物収量が多い。
［部　　署］山形県農業総合研究センター畜産研究所・草地環境部
［連　絡　先］TEL 0233-23-8817
［成 果 区 分］普
［キーワード］飼料用トウモロコシ、子実利用型、根腐れ病、子実乾物収量

［背景・ねらい］

飼料作物の新品種、系統の中から、本県の気象条件下における栽培適応性のある推奨すべき有望な品種を選定するため、飼料用トウモロコシ（子実利用型）「LG30500」について、標準品種と３ヵ年継続して比較調査する。

［成果の内容・特徴］

飼料用（子実利用型）トウモロコシ「LG30500」の特性は、次のとおりである。

1　５月中旬頃に播種すると９月中旬頃には子実含水率が 30％を下回り、収穫適期となる（表１）。

2　標準品種と比べ、根腐れ病の発症が少ない（表２）。

3　標準品種と比べ、子実乾物収量が多い（表２）。

［成果の活用面・留意点］

1　本情報は、農業総合研究センター畜産研究所(新庄市)において、山形県飼料作物栽培指針に準じ以下の概要で栽培した。
・堆肥量：牛ふん堆肥＝5t/10a
・基肥量：粒状苦土石灰 170kg/10a、粒状ようりん 90kg/10a
　　化成肥料（17-17-17）N-P_2O_5-K_2O：各 20kg/10a
・栽植密度=7,500 本/10a

2　商品名は「スノーデント 110」、相対熟度は 110 である。

［具体的なデータ］

表１　生育特性

年度	品種・系統	播種日	発芽日	初期生育	絹糸抽出期	黄熟期	収穫期	黄熟期から収穫期までの日数(日)	収穫期子実含水率	稈長(cm)	着雌穂高(cm)
R5	LG30500	5月12日	5月19日	5.3	7月24日	8月16日	9月20日	35	17.1%	304	137
	KD420（標準）	5月12日	5月19日	7.3	7月9日	8月13日	9月15日	33	13.0%	283	117
R6	LG30500	5月16日	5月25日	4.7	7月22日	8月27日	9月18日	22	26.3%	283	130
	KD420（標準）	5月16日	5月25日	5.7	7月16日	8月24日	9月17日	24	15.3%	249	100
R7	LG30500	5月14日	5月21日	5.3	7月19日	8月19日	9月19日	31	25.7%	268	136
	KD420（標準）	5月14日	5月21日	7.0	7月15日	8月15日	9月16日	32	16.0%	259	111
平均	LG30500	5月14日	5月21日	5.1	7月21日	8月20日	9月18日	29	23.0%	285	134
	KD420（標準）	5月14日	5月21日	6.7	7月13日	8月17日	9月15日	30	14.8%	263	109

※初期生育は極良を9、極不良を1とする。

表２　耐病性、耐倒伏性及び収量性

年度	品種・系統	病害			虫害による雌穂食害(%)	倒伏率(%)	折損率(%)	子実乾物収量(kg/10a)
		すす紋病(1～9)	ごま葉枯病(1～9)	根腐れ病(%)				
R5	LG30500	3.3	2.3	2.9	6.3	0.8	2.5	856
	KD420（標準）	6.0	2.7	10.4	6.7	0.4	2.5	980
R6	LG30500	2.7	3.3	6.5	3.1	0.4	1.8	1,014
	KD420（標準）	3.0	3.0	4.3	6.7	0.0	0.7	682
R7	LG30500	2.3	3.7	1.1	6.9	0.0	5.1	923
	KD420（標準）	3.0	3.0	12.3	4.3	0.0	3.6	801
平均	LG30500	2.8	3.1	3.5	5.4	0.4	3.1	931
	KD420（標準）	4.0	2.9	9.0	5.9	0.1	2.3	821

※病害のうち、すす紋病及びごま葉枯れ病は、1（無）～9（甚）の9段階による評価

［その他］

研究課題名：飼料作物優良品種選定調査
予算区分　：県単
研究期間　：令和７年度（令和５～７年度）
研究担当者：菊地拓朗、阿部巖、伊藤修平
発表論文等：なし